

広報ただみ診療所

朝日診療所

所長 若山 隆



「インフルエンザワクチン体制について」

今回は只見のインフルエンザワクチン体制のお話をさせていただきます。

インフルエンザは、高熱・体の節々の痛み・咳などの症状を引き起こし、通常の風邪に比べひどくなりやすく、さらに他人に伝染する力も強いです。抵抗力の弱い乳幼児や高齢者にとっては命にかかわることもあるため、ワクチンが開発されています。有効性については、文献により多少幅がありますが、感染の危険性を半分以下に下げられると考えられています。できるだけ多くの人にワクチンを受けてもらいたいと考えています。

ワクチンは、只見では保健福祉センター「あさひが丘」での集団接種で提供しています。集団接種予定日については、10月中にお知らせばんで配布された日程表を確認ください。不明な点があれば只見町保健福祉課(TEL:84-7005)まで確認してください。

しかし、特別な事情のため集団接種でのワクチンが困難な方もおられると思います。そんな特別な事情(歩行が困難、自力での施設来所が困難で付き

添いが必要等)がある場合、朝日診療所の定期的な受診時にワクチンの個人接種にも対応いたします。その場合、保健センターではなく、朝日診療所(TEL:84-2221)に電話でご相談ください。原則的には個人接種は定期的に受診されている方のみですが、集団接種が終了する12月9日以降はインフルエンザワクチン個人接種のみ希望の方にも午後に限って予約のある方のみ対応させていただきます。

しかし、朝日診療所では具合の悪い方の対応を優先するため、個人接種は待ち時間もかかることがありますので、できるだけ集団接種で受けていただくようご協力をお願いいたします。

◆診療所でのワクチン接種

	条 件	時 間
定期通院時の個人接種	特別な事情あり(歩行困難、付き添いが必要など)。予約が必要。	11月～ 12月末まで 定期受診時
個別接種のみ	集団接種にどうしても参加できない。予約が必要。	12月9日～ 12月末まで 午後2時～ 午後3時

地域おこし協力隊として vol.24

空き家活用促進隊
大竹 康平



「普通が特別」

只見町地域おこし協力隊、大竹康平です。待ちに待った只見町空き家バンクが、もうまもなく設立になります。空き家をお持ちの方も、空き家に住みたいという方も、ぜひご利用ください。そうでない方も、インターネットで「只見町空き家バンク」で検索してみてください。

さて、これから厳しい冬を迎えますが、私の地元は年に1、2度雪が降る程度なので、大雪の中での生活は初めてです。今冬はどのくらい降るでしょうか。只見町にとって大雪は当たり前でも、私にとっては初体験で、わくわくしたり不安になったりしています。

只見町で「当たり前」や「普通」、あるいは「欠点」と思われていることが、よその人にとっては「特別」で「魅力的」であるということが数多くあります。その点では冬場の大雪も、交通の不便さも、増えている空き家も、見方を変えれば「特別な魅力」になり得るものだと思います。

先月、只見町駅伝に出場したのですが、沿道から「協力隊がんばれ!」という声援を頂き、「顔を覚えて貰っている!」と嬉しかったです。ご声援ありがとうございました。

1年という短い任期も残すところあと半分、精一杯頑張ります。これからもよろしく願いいたします。